

縮小社会研究会 第66回研究会



日時：2022年8月22日（月） 19:30～21:00、オンライン開催（Zoom）

現代社会が、インターネットに多くを依存していることは明らかです。先日のKDDIの通信障害では、「通信を取りあげられた現代人と現代社会」がいかに脆弱であるかを思い知らされました。では、この脆弱性を意図的に突かれたら、私たちの社会はどんな影響を受けることになるのでしょうか。実際、ロシアによるウクライナ侵攻では、通常攻撃とあわせて激しいサイバー戦が繰り返されています。

「つながることが価値」だったインターネットですが、「つながることのリスク」という問題が大きくなっています。各国ともサイバー軍の増強を進め、サイバーセキュリティの確保に人もお金も使うようになっています。私たちは、インターネットの便利さを享受し、高度に情報化された社会の「日常」と「安全」を守るために、何を犠牲にしているのでしょうか。こうした「犠牲」は、インターネットの性質と世界をどのようなものに変えようとしているのでしょうか。

分断が進むインターネットは世界をバラバラにしてしまうのか？

～グローバル化の逆流現象と縮小する国際社会の未来像～

講師：山本 達也さん（清泉女子大学 教授）

講演要旨： ロシアによるウクライナ侵攻では、インターネット上でも様々な衝突が繰り返されている。浮かび上がってきた1つのキーワードは、「スプリンターネット（破片を意味する「スプリンター」と「インターネット」を掛け合わせた造語）」である。世界を1つのネットワークで「つなぎ」「統合」しようとしてきたインターネットは、「分断」の危機にある。

ロシアを世界経済から切り離そうとしている中、技術覇権をめぐる米中の対立は、2つの大国の溝と分断を深めている。グローバル化が世界を「統合」の方向に向かわせていたとするならば、今、世界で動きはじめているグローバル化の逆流現象は、世界を「分断」の方向へと導いているように見える。インターネットをめぐる近年の動向から、「縮小する国際社会」の未来像を提示する。

山本達也さんの略歴：

東京都生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士（政策・メディア）。技術と社会変動に関する政治と政策についての論考多数。専攻は、国際関係論、公共政策論、情報社会論。著書に、『暮らしと世界のリデザイン：成長の限界とその先の未来』（花伝社）、『ポスト・グローバル化と政治のゆくえ』（共著、ナカニシヤ出版）など多数。<https://www.tatsuyayamamoto.com/>



zoom の URL: <https://us06web.zoom.us/j/85698148216?pwd=b2NyRONGWUQzM3g3S1REeUxOQ1FHdz09>

ミーティング ID: 856 9814 8216、 パスコード: 122287

参加費：会員は無料、非会員は1000円

参加登録：会員は不要。非会員の方は、下記のpeatixから申し込みください。

<https://peatix.com/event/3294168/view>